

MCデータプラス

MCデータプラス(東京都渋谷区、飯田正生社長)は、建設現場の労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」に加え、三つの新サービスを4月から提供する。昨年9月に連携が可能になった建設キャリアアップシステム(CCUS)とは新たに施工体制技能者情報との連携を4月に開始する予定。同社が目指す建設プラットフォーム構想の実現に向け、他社の現場向けサービスとの連携を強化しながら、現場の働き方改革を支援する。

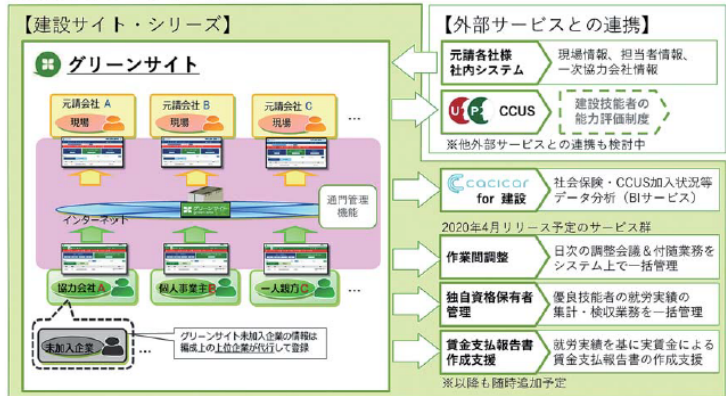


新たに提供される三つのサービスは、▽作業間連絡調整(ワークサイト)▽独自資格保有者管理(スキルマップサイト)▽賃金支払報告書作成支援(ペイレポサイト)。グリーンサイトに登録される情報(施工体制、作業員名簿、入退場情報等)を連携することで、二度入力した情報を一度と入力することがない」というコンセプトを実現しており、業界全体の生産性向上に貢献していく。

4月から新サービス

■連絡調整 ■資格保有者管理 ■賃金書類作成支援

「建設サイト・シリーズ」サービス概要



施工体制技能者情報

CCUS連携も

ワークサイトは、労働安全衛生法で元請会社の実施の義務がある作業間連絡調整会議の業務効率化を目的としたサービス。現場ごとに日々実施される調整会議を電子化し、管理することでデータが蓄積され、元請会社と協力会社間での情報共有の効率化、検索性の向上などを実現する。2020年度中には、危険予知活動や揚重搬出入管理、配置計画管理などの機能のリリースも予定されている。スキルマップサイトは、優良技能者の就労実績の収集・集計を電子化し、管理するサービス。優良技能者とは元請会社が独自に認定している優良表彰制度などの対象者で、元請会社は対象者の就労実績などに応じて手当金額を支払う。就労実績を収集する元請会社と協力会社での確認業務などの多くは手作業で行われて

プラットフォーム化で利便性向上へ

おり、現場の負担は少なくない。スキルマップサイトではこの業務をインターネット上で管理でき、業務効率化に貢献する。ペイレポサイトは、各現場が支払う労災保険料の計算に利用できる賃金支払報告書の作成のための就労実績・賃金情報の収集・集計業務を効率化するサービス。会社間での報告書の提出もインターネット上で行うことができ、現場の業務負担を軽減する。飯田社長は「グリーンサイトをさらに多くの方に利用してもらうため、今後も他社の各種サービスとの連携を強化していきたい。その際、利用者の利便性を向上させるには、一つのIDで各種サービスが利用できるのが望ましい。当社がそのプラットフォームの役割を担っていききたい」としている。

MCデータプラスは、安全書類作成サービス「グリーンサイト」に登録している協力会社向けに、CCUSの登録を支援するCCUS技能者情報登録支援機能を提供するキャンペーンを行っている。期間は31日まで。キャンペーンによりCCUSへの技能者登録を後押しする。

CCUS技能者登録支援 月末まで無料キャンペーン

CCUSカード発行に必要な必須項目のうち、約7割の項目がグリーンサイト上のデータを転用できるため、同機能を利用すれば、CCUS上では残りの3割の項目を追加入力し、資格証の写しなど添付書類を提出するだけで本登録ができる。データ転送の際には、あらかじめ技能者本人の同意を得る必要がある。